

主催 旺文社／後援 文部科学省・環境省・こども家庭庁(予定)

第 69 回 全国学芸サイエンスコンクール

ポスター掲示のお願い/作品応募のご案内

謹啓

時下ますますご清栄の段お慶び申し上げます。平素は格別のご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

「第 69 回全国学芸サイエンスコンクール」を開催いたします。作品募集のポスターを掲示していただきたく、ご案内をさせていただきます。

当コンクールは理科自由研究/自然科学研究/社会科自由研究/人文社会科学研究/絵画/書道/小説/詩/読書感想文/作文・小論文/写真/ポスター・デザイン/【特別企画】スタートアップ部門の全 13 部門と幅広い多様な部門を設け、児童、生徒の皆さまがそれぞれの得意な部門で制作した作品をご応募いただける総合コンクールとなっています。

優秀作品には、内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞などの特別賞をはじめ、多数の賞が授与されます。また、コンクールに応募された皆さま全員に参加賞を差上げます。

応募締め切りは令和7年9月22日(月)〈当日消印有効〉となっておりますので締切日まで告知ポスターを掲示していただき、作品を応募していただければ幸いです。

お忙しい中恐縮ですが、ご協力いただけますようお願い申し上げます

末筆ながら、ますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

謹白

■全国学芸サイエンスコンクールホームページにて、学校応募用紙・応募票をダウンロードしてご利用ください。

ホームページ：<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>

*個人情報につきましては、コンクールご案内以外の目的で使用することは一切ございません。

令和7年 5 月

【問合せ先】

株式会社旺文社 全国学芸サイエンスコンクール事務局

〒162-8680 東京都新宿区横寺町 55

TEL: 03-3266-8002 Eメール:gakkon@obunsha.co.jp

▶ 応募規定

〈共通〉

- 小学4年生～高校3年生
- 同一部門での応募は、1人(1グループ)1点とする。
- 応募作品は自作のものとする。他の作品を模したものの、盗作や不適切な引用などがあった場合は、入賞後でも入賞を取り消しとする。全国規模のコンクールに応募した作品は応募不可。
- グループなど共同制作した作品の応募も可能。グループの人数制限はなし。クラス単位での応募も可能。グループでの応募の場合は、作品の巻末にグループ名と制作者全員の氏名、指導した先生

名を明記し、指定の応募用紙・応募票の名前の欄にグループ名と制作に携わった人数を記入すること。

- PDFやJPEGなどの電子データで送付(紙でも受付可能。用紙のサイズ指定はなし)。
- 学校応募の場合、提出作品をフォルダにまとめ、フォルダを圧縮したzipファイルで提出すること(フォルダ名は学校名にすること)。
- 指定フォーマットの使用は自由。指定フォーマットを使用しない場合は、表紙に学校名、学年、氏名、作品名を記載すること。

※指定フォーマットは下記URL(全国学芸サイエンスコンクールホームページ)内の「特別企画スタートアップ部門」よりダウンロードできます。
<https://www.obunsha.co.jp/gakkon/>

〈テーマ〉

小学生の部	中学生の部／高校生の部
テーマ①：地域活性化ビジネス	
自分の住む町に「こんなお店があったらいいな」「こんな施設があったらいいな」「こんな街並みにしたい」など、自分がより魅力を感じる町、より大好きな町、より人に愛される町などを想像してください。そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	自分の住む街をより良く活性化させるビジネスアイデアを創造しましょう。そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。
テーマ②：社会・環境問題解決ビジネス	
いま、世の中では何が起きているのか。日頃、自分が感じている疑問や不安に思うことなどを思い起こしてください。その思い起こしたことを自分事として捉え、解決するには何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	いま、世の中で起きている様々な問題を解決するためのビジネスアイデアを創造しましょう。そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。
テーマ③：未来の学校・教育ビジネス	
「こんな学校だったらいいな」「こんな授業があるといいな」「こんなこと学びたいな」など、自分がより学べる、毎日通いたくなる、楽しくなる学校や学習法などを想像してください。そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	みんなが通いたくなる(入学したくなる)素敵な学校モデルやより学べる仕組みや新しい学習法等のビジネスアイデアを創造しましょう。そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。
テーマ④：その他のテーマでのスタートアップアイデア	
①②③に属さない商品やサービス「こんなものがあっていいな」「こんなサービスがあったらいいな」などを想像してください。そのアイデアを実現するために課題を見つけ調べてみましょう。課題解決には何が必要(集客、ものの販売、サービスの提供など)かを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。	①②③に属さない商品やサービス「こんなものがあっていいな」「こんなサービスがあったらいいな」等、ビジネスアイデアを創造しましょう。そのアイデアを実現するための課題解決策や集客、ものの販売、サービスの提供、収益目標(構想・計画)などを考え企画しましょう。また、最終審査では伝える力(プレゼンテーション力)が必要です。

▶ 審査基準

	一次審査(企画書) ※一次審査通過者のみ動画を提出する。	最終審査(動画)
小学生の部	着眼点、着想力、構成力、訴求力 着眼点：テーマが決まっている場合での着眼点は、企画内容の中での「目のつけどころ」を審査する。テーマが決められていても審査に影響はない。	プレゼンテーション力 (プレゼンテーションは5分以内)
中学生の部 高校生の部	着眼点、着想力、構成力、訴求力、収益性 着眼点：テーマが決まっている場合での着眼点は、企画内容の中での「目のつけどころ」を審査する。テーマが決められていても審査に影響はない。	

▶ 応募締切から結果発表までのスケジュール

	9月	10月	11月	12月
応募期間	締切9月22日	一次審査 結果通知 10月下旬 (予定)	最終 審査 11月末 (予定)	結果 発表 12月中旬 (予定)
		プレゼン動画 提出期間 締切11月中旬 (予定)		

〈作品返却について〉

作品返却は原則いたしません。必要に応じてコピーや写真をとっておいてください。

〈応募作品の著作権について〉

入賞作品を含むすべての応募作品の著作権は、応募者(作者)に帰属します。

ただし、応募者は、応募の時点で、主催者(旺文社)が応募作品について作品集、ホームページ、動画集などへの掲載および事業における利用等を含む自由な利用を行うこと、ならびに旺文社の取引先および新聞社等を含む第三者に対し利用させることを許諾するものとします。また、主催者(旺文社)は、上記利用にあたり必要な範囲での改変、翻案および編集等を行うことができるものとします。

〈個人情報の取り扱いについて〉

応募の際に提供された個人情報は、コンクール運営業務の目的以外では使用されることは一切ありません。旺文社の個人情報保護方針については、旺文社ホームページにも掲載しております。

〈企画書の送付先〉

- 郵送の場合 〒162-8680 東京都新宿区横寺町 55 株式会社 旺文社
全国学芸サイエンスコンクール事務局「スタートアップ部門」
- 電子データの場合 Eメール：startup@obunsha.co.jp
※「スタートアップ部門」以外はEメールでの作品応募はできません。